



3冊目
風斗 碧

高橋伸子



ただいまー



・・・誰？
おじさんたち



おじさん達
こそ誰よ

何を言っているの？
僕はシャウラ
ここの家の
子供だよ



「ただいま」？
君は誰だ？

おいおいおい！
債権確認は
したんだろうな

ちよっと
ちよっと
待ってよ



・・・私達は不動産屋だ
ここは1週間前に
スハイルハダール商会
から買ったんだよ



そんな
馬鹿な



・・・どう
いふこと？



こんにちはー

スハイル
ハダールは
父の会社で



児童福祉教会
ですよ
お迎えに
来ました

準備は
よろしいですか

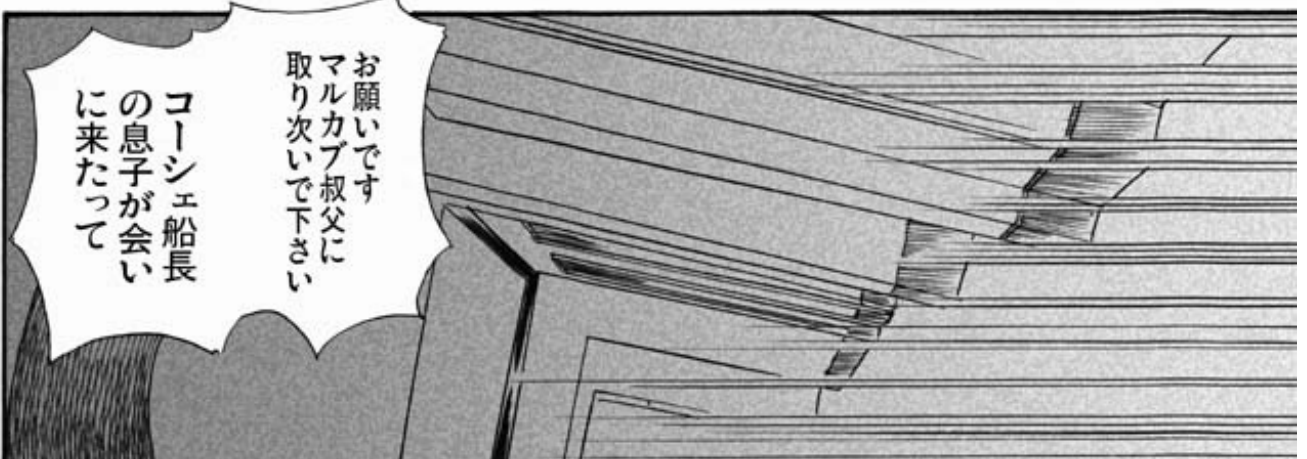


あら何も
お聴きでない？
この間の嵐で
スハイルハダール商会
の船が沈んだでしょう？

私達はそれで
身寄りのなくなった
子供を引き取るように
言われて来たんですよ



うそだ



お願いです
マルカブ叔父に
取り次いで下さい
コーシエ船長
の息子が会い
に来たって



放せ！父は？
トライス号は
どうなったんだ

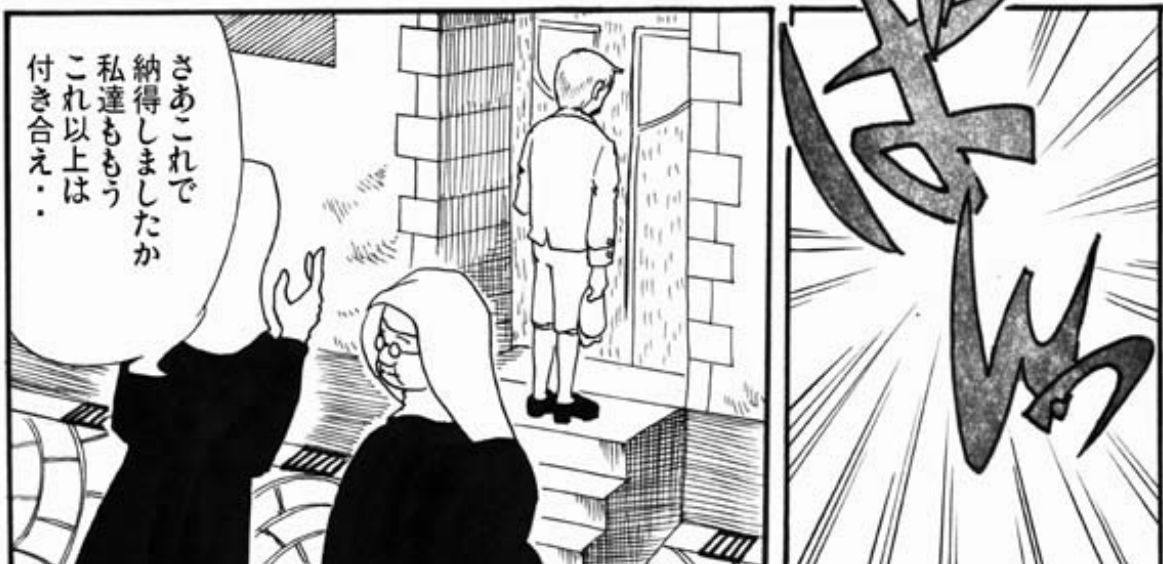
はい

つまみ出せ



沈んだよ

さあ社長は
忙しいんだ
仕事の邪魔を
しないでくれ



さあこれで
納得しましたか
私達ももう
これ以上は
付き合え：

ぼん

何だって？



あれでいい
のですか？



ちょっと
あなた！



少しでも金を
作らなくては

こっちは会社を
守るので手一杯
支払いは波より
早くやってくる



では他に
どうしろというのだ？
あのかい家に
子供1人で住む訳にも
いかんだろう

会社の船が
沈んだんだ



おとうさん
おとうさん
おとうさん



おっ?ゴメンよ
ポーズ



・・・お腹
空いたなあ

どん
☆
ー

嘘だよね
船ちよつと
遅れている
だけだよね

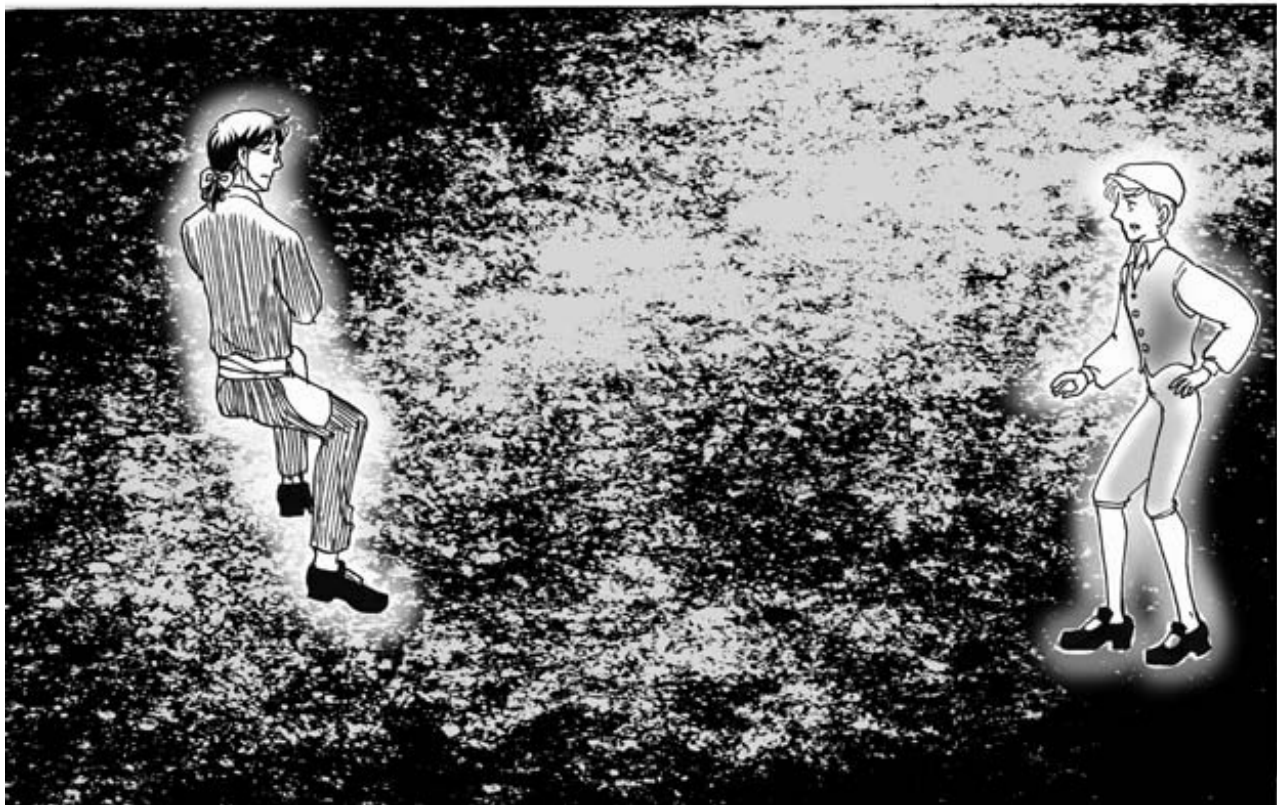


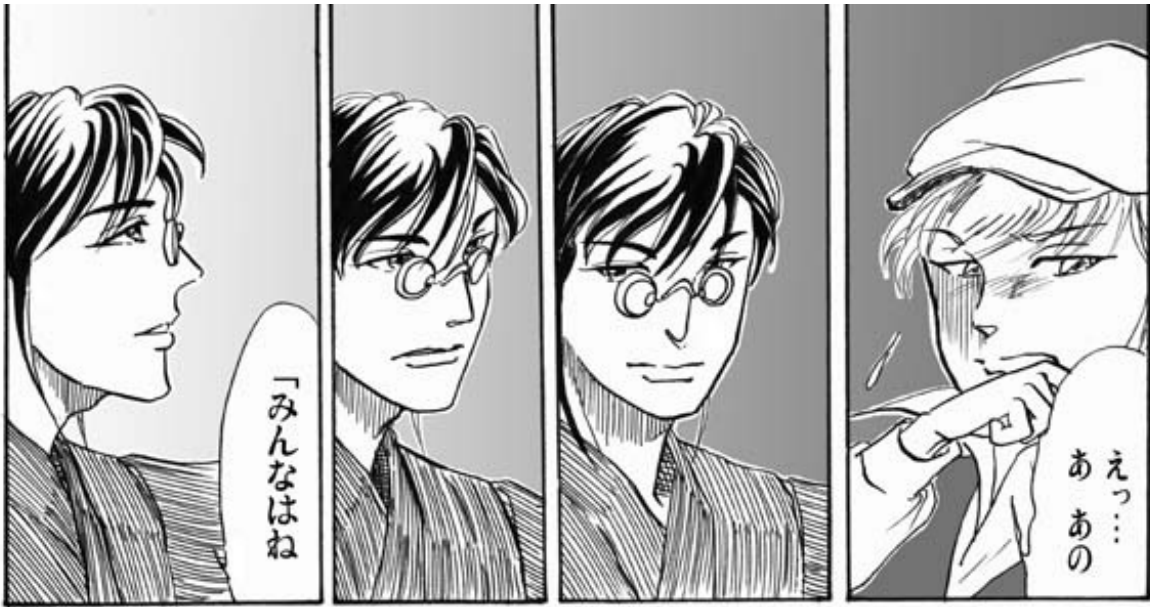
あっあの
サイフ



ごちそうさま
でした







銀河ステーション
銀河ステーション



これは3次元空間の方からお持ちになったの

「じゃさよなら」
女の子がふりかへてて人に云いました。



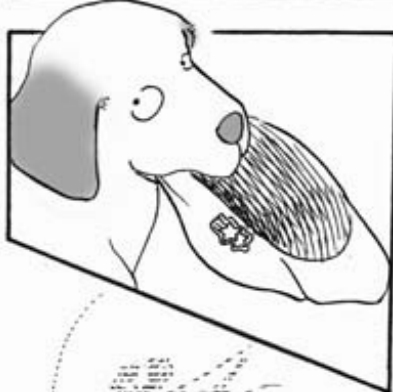
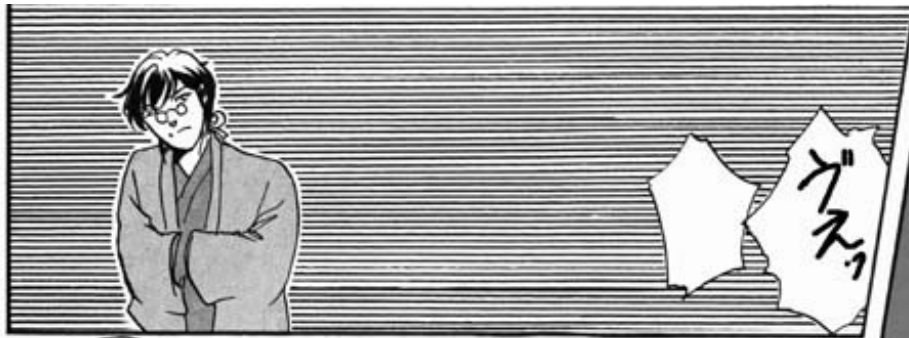
「ありがたう。私は大へんいゝ実験をした。
私はこんなしづかな場所へ遠くから私の考

琴の目がずうつと西の方へ移つてゐてまた昔













やあ
おはよう



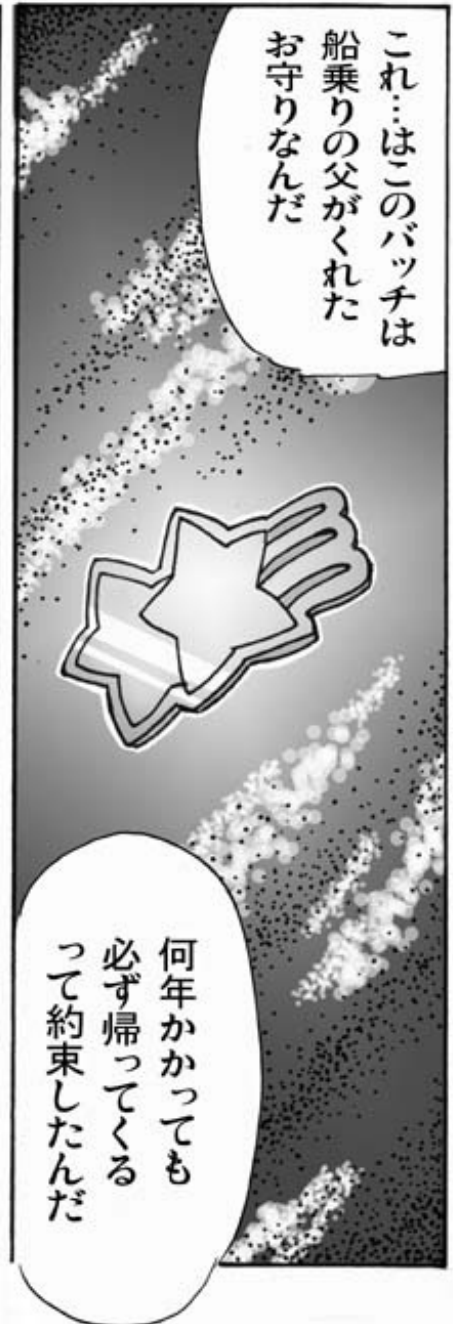
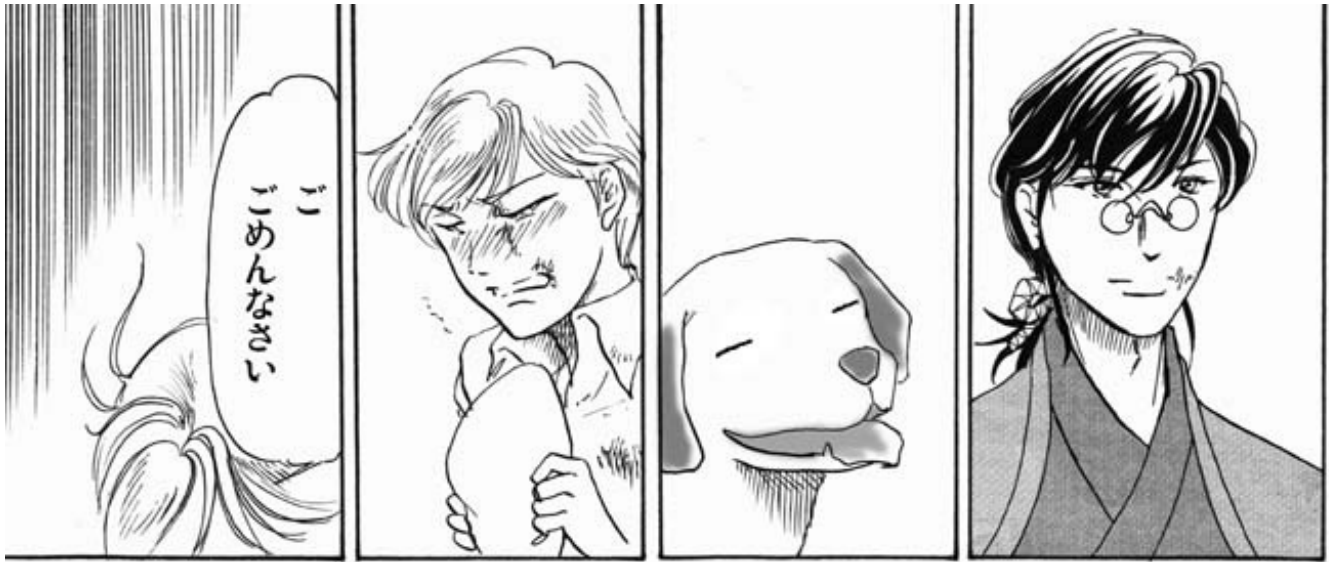
あ…んた
あの時の
本読みの

！その怪我
俺…のせい

ああそんなことは
どーでもいいんだ

それよりこの
帽子の

は





だったら君は
神様の使いだ





あのオレは
シャウラだ

私は
あるでばらん亭
読み語り師だ



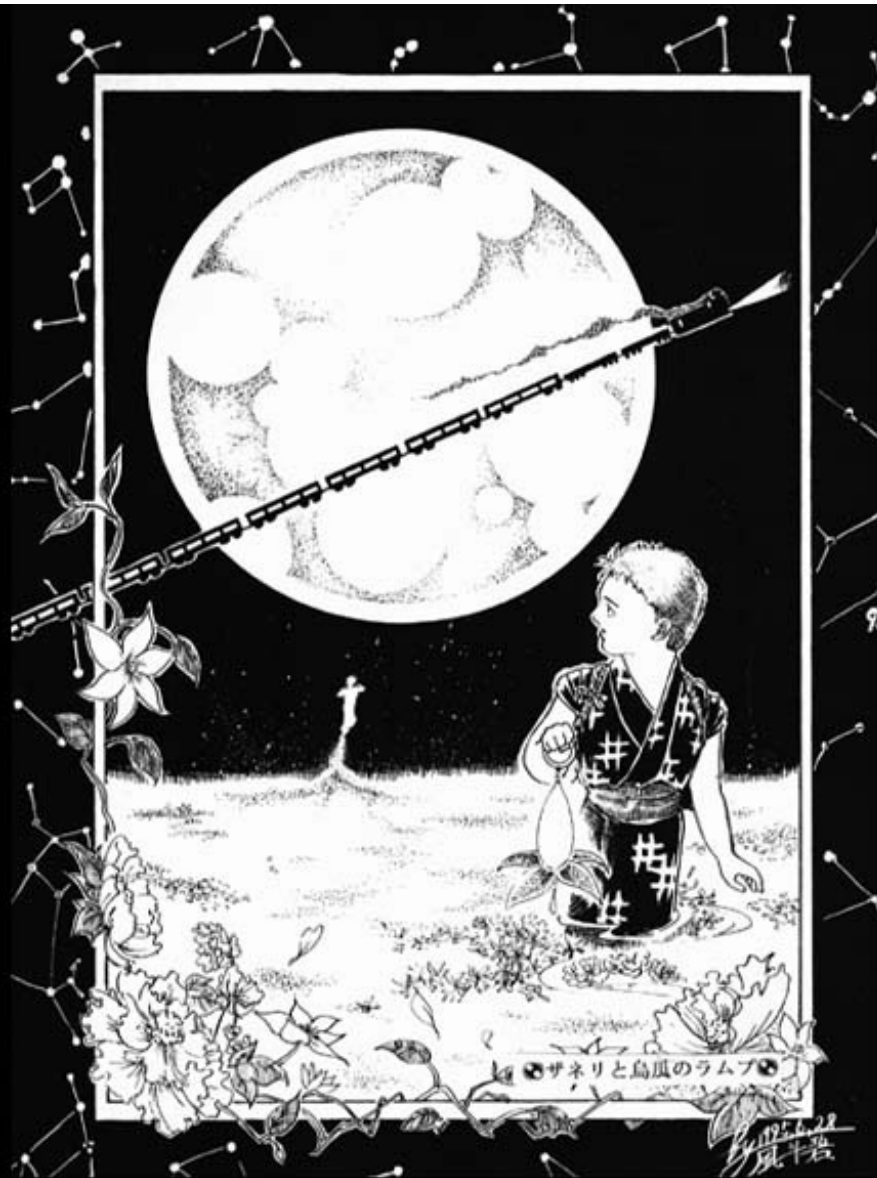
そうだ
意味は

「あるでばらん」
・・・知ってる
星の名だ



「後に続く者」

おしまい。



『おるでばらん亭』

ブルカニロ博士編

読んでくれてありがとう

参考文献

ちくま文庫

『宮沢賢治全集』

より

『銀河鉄道の夜』

異稿1

(ブルカニロ博士版)

あるでばらん亭・3

<http://p.booklog.jp/book/49099>

著者：風斗 碧

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/midorikazato/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/49099>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/49099>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社paperboy&co.